



## 林間学校で学んだことをどう活かすか？ 意識して行動しよう！

前号に続き、林間学校での活動を振り返っていきましょう。

5月22日（水）1日目

大縄大会の練習のあとはクラス対抗、校歌大声選手権！  
「練習で声がかれた～」と言っていた人もいましたが、本番はどのクラスも甲乙つけがたい歌いっぷりでした。

デシベル計で計測し、歌い始めから終わりまでのMAX値と結果は以下の通りです。



1組 127.5dB 3位



4組 130.5dB 2位



3組 130.8dB 1位



2組 127.4dB 4位

青空のもと、クラスごとに大声で歌った校歌は、緑の高原にこだましていました♪♪♪  
体育大会、連合体育大会など、これから何回もみんなで校歌を歌います。鉢伏高原で歌ったあの元気な声を伊丹でも・・・期待しています。

「1回できたことは、できる！」

その後、宿舎「やまとよ」の各部屋に入りました。室長が部屋の点検をし、荷物を置くと、すぐにスタンプ練習。ダンスをするクラスは、ダンスリーダーが中心になり周りの友だちに教える姿は、見ていてほほえましかったです。

入浴後は美化係がきれいにお風呂を片付け、忘れ物点検もできました。



スタンプ練習と入浴後、まちに待った夕食！  
食事の準備や片付けは、給食委員を中心とした食事係の人たちが行いました。手際よく、てきぱきと動いている姿に感心しました。

しかし課題も見えてきました。  
整列時になかなか指示がとおらない、もくもく移動ができていない、「ごちそうさま」の後、指示がでるまで黙ってられない、など前に立つリーダーが困っていることが何度もありました。

今夜は鴨鍋→



どの班もすごい勢いで

食べる・・・

食べる・・・！！

ごはんのおかわりに行列ができ、すべて完食しました。  
残食ゼロ！林間でも達成です。

好き嫌いをせず、何でも食べることが残食ゼロになり、日本の食品ロスを減らすことにもつながります。一人ひとりの意識が大切です。

## 作文紹介

「笑顔の魔法」

4組

私は林間学校で印象に残ったのは、山登りと食事係の仕事です。

1日目の夕食から始まった食事係の仕事。食事係は班の人たちのご飯をつぐ係で、みんなが来る前に準備をします。準備はすごく楽しいです。なぜなら、みんなが食べる時、笑顔で食べてくれるからです。笑顔で食べてくれると私はすごくうれしいです。3日間笑顔が見られて、係のやりがいがあったと思いました。

2日目の山登り。前日までは「4時間半」という言葉だけで「しんどいだろうな」と思っていました。でも本番の日になるとすごくワクワクしていました。登っている時も班でいろんな話をして、あっという間に頂上に着き、そこで見た景色は絶景でした。帰る時も様々な自然を見ることができて、楽しい山登りでした。

私はこの林間学校を通して「笑顔」の大切さを知りました。笑顔は自分も相手も笑顔にし、幸せになると感じました。

夕食後は学習会。  
スタンプ練習で熱く盛り上がった同じ場所とは思えない静けさ。

数学の問題を一人で解いた後、笹トレの要領で、教え合いをしました。



学習会の後は星空観察。お昼は雲ひとつない晴天だったので、期待が膨らみました。その期待を裏切らないすばらしい星空を1年生みんなで見ることができ、良い思い出になりました。

## 作文紹介

「 林間の思い出 」

4 組

入学してから1ヶ月後、私たちは林間学校に行きました。

1日目、星空観察。やまとよを出た時は分からなかったけど、広場に着くと、たくさんの星がきらきらと光っていました。いつもは本でしか見たことがない「北斗七星」やテレビでしか見たことがない「流れ星」をこの目で見てしまい、星に目をうばわれました。また見に行きたいと思いました。（後略）

1日目の最後は学級反省会。学年委員が司会をし、1日を振り返りました。

「 林間を振り返って 」

1 組

一番印象に残ったことは、集団をまとめることの難しさです。学年委員として中心に立ち、皆をまとめようとしたけど、一人ひとりが意識しないとできないことを改めて知り、どう声をかけたらいいのか分からなかったです。だけど1日1日たっていくうちに、一人だけが声をかけるのではなく、皆で注意し合っているのを見て、声をずっとかけていて良かったと思いました。集中がもたなくて、乱れることがあったけど、声をかけてくれる人がいて、皆の意識が変わったんだなあ、と思ったから一番印象に残っています。

この行事を通して学んだことは、**一人ひとりが意識しないといけない**、という集団行動の難しさです。一人ひとりが意識してやることを集団行動といいます。一人ひとりが意識しないと、ただの群れと言われます。一人が言うだけなら、全員には伝わらないから、もっとできている人を尊重していけば良かったなあと思いました。

もう一つ学んだことは、**協力すること**です。意識しているだけではできないので、集団で動くということは、みんなの協力があるから成り立つんだなあと分かりました。このような学びを毎日続けることでクラスの出来も変わっていくのかな、と思いました。この行事を通して、目標を達成するぞ、という強い気持ちを持つことが大切だ、と感じました。



## 5月23日（木）2日目

6時30分起床。この日も快晴。まずは朝のつどい。学年委員の挨拶の後、保体委員が前に出て体操をしました。眠かったせいか、少し元気がなかったですね。

朝食終了後、いよいよ飯ごう炊さん。自分たちでお弁当作りです。ご飯を炊き、パックに詰め、片付けまで合格した班から山登りに出発。班の協力の見せどころでした。



飯ごう炊さんは、煙との闘い！泣きながら、火の番をしてくれた人たちのおかげで、すべての班が失敗することなく、白いご飯を炊きあげることができました。



そんな中、班で協力し、1番にスタートできたのは、2組4班でした。鉢伏山の頂上(1221m)にも1番に到着しました。

2組4班→



飯ごうをきれいに洗ったつもりでも、最後の点検でなかなか合格せず、何度もやり直していた班が多かったです。

自分の基準では甘すぎることを痛感しましたね。

「 林間学校を振り返って 」

1 組

林間学校で1番印象に残ったことは、オリエンテーリングでした。飯ごう炊さんと山登りです。理由は、飯ごう炊さんで自分たちで火を調節したり、新聞紙であおいだりしてご飯をおいしく炊けて、片付けも班のみんなで協力してできたからです。

山登りでは、自分が最初に疲れてしまった時も、班のみんなが声をかけてくれて、頂上までがんばれて、班のみんなで登れたのでとても良かったです。お弁当を食べて山を降りる時にこけてしまったけど、最後までリタイアせずにがんばれたので、とてもうれしかったです。

林間学校で学んだ事は、**がんばってやれば最後までできる**という事です。あきらめないで最後までがんばって、とても達成感が味わえたので、山登りみたいに最後まで何でもできるようにがんばってみようと思いました。これから林間学校で学んだことを思い出し、普段でも勉強や授業をがんばろうと思います。自分ができないと思っていた山登りが最後まで登りきれたので、とても良かったです。**仲間と協力してやる事が大切だ**ということがオリエンテーリングで分かったので、林間学校ではたくさん学べました。